

## 地質調査技士に合格して

菅原 一 英

高校を卒業と同時に現在の会社に入社して早五年。最初の頃はただ諸先輩達の後姿を見失わないようにかけ足で追いかけるような毎日であった。この頃ようやく仕事の流れと、その中での自分の役割が見えて来たような気がする。

地質調査技士の受験資格に達した今年、当面の目標としてただに受験以来その結果がずっと気がかりであった。

九月の中旬に合格したとの知らせを聞いたが、実際に手許に合格証が届くまでの間は半信半疑であった。本当は聞き間違いで、他の人の合格が私の合格と誤報されたのではないか、などと思ったりもした。それから数日後に合格証が届き、やっと実感が湧いてきた。

地質調査技士としての重みも最近ひしひしと感じるようになってきた。現場に行き、いつもと同じ事をするだけなのに、何かが違うと思うのも、調査技士としての責任の重さを感じる為なのだろうかと思うこともある。

試験に合格したからといって、総ての地質を判別出来る訳でもない。総ての地質に合った掘進技術が上がった訳でもない。只、ボーリング会社に勤務し、五年以上の現場実務経験で試験に臨んだに過ぎない。人生

に幾つもある壁のうちの一つをクリアーしただけのことで、これからの地質調査技士としての人生の方がはるかに長い道程となります。これからは今までの様な、一作業員的な意識でなく、地質調査技士としての責任を果たすべく更に勉強していかなければならないと考えています。

技術は、日々進歩を続けています。技術を頭で理解しても体が動かないという年齢ではない。少々動きが鈍いが体は動く、年齢も肉体もまだまだ若い。若いうちに知識や技術を吸収し、自分の体に覚え込ませる。そうすれば自然に地質調査技士として初めて一人前になるのではないかと考え、努力している毎日です。

今、経験不足ながらも後輩達を指導し、先に立って引っぱって行かなければならない立場と思いますが、自分の勉強も兼ね、一緒に勉強しなければと思っています。理解出来ない部分は諸先輩の人達の指導を得て、地質調査技士の名に恥ない仕事をしていきたいと考えています。

(奥山ボーリング㈱)

伊藤 謙 也

私は、今回地質調査技士を初めて受験し、合格する事が出来ました。これも会社はじめ、諸先輩の指導及び励ましがあったからだと思っており、感謝しております。

地質調査技士という資格に対して、自分

は今までに非常に優秀な人達だけが得る資格という感じでおり、自分には無縁の物と思っておりました。これが今回受験のチャンスを与えて頂き、正直言って不安だらけでした。自分には、技術、知識、経験といずれも半人前という気持ちでおりましたから…。でも、せっかくのチャンスに不安な気持ちだけでは駄目だと、自分に言い聞かせながら自分にはボーリング、調査、諸探査、工事、報告書等一系列の経験があるんだと、言い聞かせ自分なりに努力してやってみようという気持ちになり、必然的に開き直りみたいなものも出て来ました。

すると、自分でも近年ない位勉強をする気になり、又分からない所は先輩達に教えて頂き、7月8日の筆記試験では自分なりに良く出来た方だと思っておりました。問題は午後の口頭試験で、難しい質問が出たらどうしようと、かなり不安でしたが、幸いにも自分が経験した事が質問に出て何とか答える事が出来、無事試験を終る事が出来ました。

受験してみたの感想ですが、やはり口頭試験では様々な経験がなければ、やはりちょっと不利かなというのが実感でした。

これからは色々な現場をこなし、何事にもチャレンジ精神で技術的にもレベルアップ出来る様、頑張っていきたいと思っております。

(旭ボーリング(株))

## 高橋 信一

私が、地質調査に携わって10年が経過した。高校を卒業して、高田さく井工業(株) (現：(株)高田地研)に入社し調査課の一員として地質調査に携わったのが始まりでした。

入社後間もないころは土質試験を中心に担当していたが、次第に現場(ボーリング)を担当するようになった。初めてボーリングの現場を担当したときは、ボーリングの言葉自体は知っていたものの作業内容をあまり把握しておらず、打ち合わせの段階からつまづき、また現場においては機械の仮設・搬入の際に「搬入路および仮設スペースが狭い」など現場踏査の甘さから現場がスムーズに行かず、上司やボーリングのオペレーターに大変迷惑をかけ、注意・指導されることが多々あった。

こんな自分であったが、周囲の人々の協力により数多くの現場をこなすにつれ次第にボーリングを把握し、こなせるようになったと思う。またボーリングに付随する原位置試験の機械の操作・解析もできるようになってきた。

今回、入社10年目という節目において地質調査技士に合格し、技術者の仲間入りしたことにより新たな気持ちで調査に取り組み、よりいっそう能力・知識の向上を目指し頑張っていきたいと思う。

(株)高田地研)